

こさい議会だより

ぎかいのひろば

No. 197 9月定例会

令和3年10月31日発行

特集

市議会における

感染予防対策

- 4 ● 9月定例会ではこんなことが決まりました
- 6 ● わたしたちのお金、何に使った？(令和2年度決算審査)
- 9 ● そこが聞きたい！！一般質問
- 11 ● あの質問、どうなったの？



令和3年6月21日現在の太倉戸茶屋松線整備事業の様子
(浜名バイパス太倉戸ICを望む)

市議会における 感染予防対策

緊急事態宣言が発令されている中での開催となった9月定例会におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を強化しました。パーテーションの設置や、登庁時の検温・手指消毒、議場内の消毒など様々な感染予防対策を行いました。





この扉のほか、合計4箇所の扉を
常時開放して会議を行いました。

議員、職員ともに通常より間隔を空け
て着席するとともに、人と人の間に
パーティションを設置しました。

議会の傍聴について

●傍聴席の人数制限をさせていただいております。

通常：28席 → 現在：7席

●定例会の様子はYouTubeでご覧いただけます。感染防止のため、ご自宅でYouTubeでの傍聴にご協力ください。

湖西市議会 YouTube

検索

9月定例会ではこんなことが決まりました

9月定例会

会期

8月31日～9月30日

条例の一部改正	1件
補正予算	5件
令和2年度決算	7件
人事案件	2件
意見書	1件

合計 16件

この中から
2つの質問を
紹介します!!

人事案件

教育委員会委員

任期満了となる田中ゆかり^{たなか}氏の後任として、西川倫予^{にしかわみちよ}氏(新居町中之郷)を選任することに同意した。

人権擁護委員

任期満了となる池田定子^{いけださだこ}氏(入出)を引き続き選任することに同意した。

民間保育園・こども園 のコロナ対策補助金を 増額

●民間保育所等助成事業費

450万円

延長保育・一時預かり、病児保育を実施する民間保育園・こども園のコロナ対策に係る経費に対する補助金を増額。

問

補助金450万円の内訳は。また、同様の経費として増額する公立保育園などに係る消耗品費255万円と比べて多額である理由は。

答

コロナ拡大防止に係るアルコール消毒液などの購入費用に充てるものとして、内閣府の交付金に基準額が定められ、子育て支援事業を実施する保育園などへ各事業単位で補助されるものである。民間保育園などは全8園に対し、延長保育事業を実施する大規模園1園当たり上限25万円が6園分、小規模園1園当たり上限15万円が2園分、一時預かり事業を実施する園1園当たり上限30万円が6園分、病児保育を実施する園1園当たり上限30万円が3園分で合計450万円。また、公立保育園などは全3園に対し、延長保育事業25万円、一時預かり事業30万円、病児保育事業30万円を各3園分で合計255万円。対象となる園数が異なるため、民間保育園などの方が多額となっている。

民間宅地開発を促進

●都市計画総務関係経費 (民間宅地開発奨励金)

1,600万円

湖西市立地適正化計画で設定した居住誘導区域内において民間宅地開発を促進するため、土地提供者・開発事業者への補助金を計上。

問

居住誘導区域内にある農地の活用はどのように考えているか。

答

立地適正化計画は2040年の都市像を見据えて策定されており、居住誘導区域内への居住と都市機能の誘導を緩やかに実施するものである。本来宅地であることが望ましい田畑、山林などの未利用地が、今後20年間の中で宅地への変換が行われ居住誘導がなされることで区域内人口の減少を抑制することが可能となる。

国に意見書を提出

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出についてを全員賛成により可決した。

(要約)

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度においても、引き続き、巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け増高する財政需要に見合う財源が求められる。

その財源確保のため、地方税制の充実確保が強く望まれる。

よって、国においては、令和4年度地方税制改正に向けた財源確保を確実に実現されるよう、強く要望する。

あて先 ▶▶ 内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣、衆議院議長、参議院議長

賛否が分かれた議案一覧

議案番号・議案名	結果	柴田	加藤(治)	滝本	三上	福永	菅沼	土屋	高柳	楠	佐原	吉田	加藤(弘)	竹内	荻野	馬場	中村	神谷	二橋
議案第89号 令和2年度湖西市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	○	○	○
議案第90号 令和2年度湖西市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	○	○	○

※「○」は賛成、「●」は反対。 ※議長(馬場)は採決に加わらない。

本会議での討論(議案第89号)

●反対

国の誘導のもとに多くの自治体が、人口大幅減の推計を前提にした立地適正化計画を立てている。そのもとで中心部には行政投資を集中して乱開発をおおる。郊外では公共施設の統廃合などを進める。これではまちの衰退計画でしかない。むしろ人口減少を迎えるにはどうしたらよいかと考え、子育てしやすいまち、お年寄りになっても住み続けられるまち、安全に暮らせるまちをどうつくるかという発想を進めるべきだ。

○賛成

コロナ禍による法人市民税の減収分を補うために減収補填債などを活用し、市の貴重な財源である財政調整基金からの繰り入れを極力抑え、将来に向けての財政の健全性と継続性について考慮された運営であったといえる。歳出も、限られた財源を有効に活用できるよう努め、コロナ対策などにはスピード感を持って取り組んだ姿がうかがえた。

令和2年度決算

わたしたちのお金、 何に使った？

令和2年度各会計決算を認定

PICK UP!

令和2年度各会計決算を以下の委員会に付託して審査を行った。

決算特別委員会

→ 一般会計

総務経済委員会

→ 国民健康保険・後期高齢者医療事業決算

福祉教育委員会

→ 介護保険・病院事業決算

建設環境委員会

→ 公共下水道・水道事業決算

今回は決算特別委員会の中から、いくつかの質疑を

PICK UP!

令和2年度各会計決算

(単位：円)

会計区分		決算額	
		歳入	歳出
一般会計		29,865,485,038	27,702,074,010
特別会計	国民健康保険事業	5,715,537,630	5,384,209,082
	介護保険事業	4,201,790,602	3,972,708,500
	後期高齢者医療事業	731,577,981	730,727,472
企業会計	公共下水道事業	収益的収入	収益的支出
		1,400,451,747	1,307,699,299
		資本的収入	資本的支出
		690,731,926	970,934,337
	水道事業	収益的収入	収益的支出
		1,211,247,081	1,010,714,564
		資本的収入	資本的支出
		3,456,450	333,069,014
	病院事業	収益的収入	収益的支出
		3,233,558,024	3,226,276,584
		資本的収入	資本的支出
		240,831,000	328,255,516

税金

問 法人市民税の減収分はどのように補填したのか。

答 減収補填債 7億7,340万円のうち、法人市民税の減収分としては7億円を借り入れた。また、調整債1億8千万円を借り入れ、合計8億8千万円を法人市民税の減収分の補填として借り入れた。

公共交通

問 コーちゃんバス、デマンド型乗合タクシーの1人当たり利用額が増加しているが、利用者が減少した要因と、費用対効果についての評価は。

答 コロナ禍による外出自粛や学校の休校、テレワークの推進などにより朝の便の利用者数が大きく減少したこと、令和2年10月の路線再編による1路線減少、1日の総便数を81から73に減らしたことが要因と考えられる。コーちゃんバスは路線全体で1日300人以上が利用し、生活や利便性の確保に必要不可欠なものであるため、今後さらに利用者数の増加を図り、費用対効果を向上させたい。



福祉

問 生活困窮者自立支援事業は令和元年度と比べてどんな状況だったか。

答 コロナの影響により生活に困窮して相談に訪れる方が急増し、新規相談件数は490件(令和元年度の約8倍)であった。収入や生活費、家賃やローンの支払いなどの相談内容が大半を占め、緊急小口資金の貸付など、何らかの助成制度の利用に結びついたものも令和元年度に比べ増加した。

保健

問 若年がん患者等支援事業補助金の内容と実績は。

答 助成内容は下表のとおり。令和2年度は、にんようせい妊孕性温存治療に対する補助が1件、がん患者医療用補整具購入費に対する補助が13件あった。

	支援の内容	助成上限金額
妊孕性温存支援 <small>にんようせい</small>	精子の採取・凍結	20,000円
	卵子、卵巣組織などの採取・凍結	400,000円
医療用補整具購入支援	医療用ウィッグ・補正下着	20,000円
	人工乳房	100,000円
小児・若年がん患者在宅療養生活支援※	居宅サービス	月額 50,000円
	福祉用具貸与	月額 30,000円
	福祉用具購入費	50,000円

※サービス利用料の1割は自己負担

環境

問 指定ごみ袋の搬送を直営にしたことによる効果は。

答 ごみ袋の製造、販売店への配達などに約3,385万円支出していたものを、令和2年度は販売店への搬送を会計年度任用職員による配達に変更した。ごみ袋の発注数について、同数程度の発注があったと仮定すると、約1,200万円の経費節減を図れたものと考えられる。

労働

問 ものづくり人材交流事業で求職者登録をしている人のうち、再就職をしていない人へのフォローは。

答 未就職の求職者向けに、求職活動の援助となる求人情報や求職者向けセミナー情報などを定期的に提供するとともに、就職が決まるまで個別の職業相談や電話での状況確認などのフォローを行っている。

産業

問 畜舎の密閉化・脱臭装置の設置による効果についての評価は。

答 密閉化については、静岡県の「スマート畜産支援事業」の補助対象である脱臭シートの設置を促進するために、県の補助金にさらに上乗せして補助を実施した。脱臭装置については、畜舎内の臭気を脱臭するための装置の設置費用に対して補助を実施した。本補助制度により畜産事業者の臭気対策意識の向上が図られているものと考えている。

道路

問 地元要望道路改良事業は74%の実施であったが自治会の要望に対し十分な対応ができていたのか。

答 提出された要望については、職員が現地を確認した上で、緊急性、公共性などの観点から評価し、実施の決定をしている。優先順位が高いものは事業費が多である場合もあり、地域が要望する優先順位どおりに事業が執行できていないのが現状である。今後も効果的に事業を推進していくよう、地域と調整を図りながら取り組んでいきたい。

消防

問 救急活動におけるコロナ感染の恐れや病院紹介など精神的負担のメンタルケア対策は。

答 新型コロナ陽性患者の搬送が一人の職員に重複しないよう救急隊の乗換え運用を実施しており、事前にコロナ陽性患者または陽性疑いの搬送事案が判明したら、搬送回数が少ない職員を優先的に出動させている。ストレス対策が必要と判断した場合は、ストレス反応を確認し、更にケアが必要と認めるときは、職場における経過観察や産業医などの専門機関にカウンセリングを依頼することになっている。

教育

問 外国人児童生徒適応指導教室事業の課題と評価は。

答 適応指導教室の指導員の業務については、日本で学校生活を始めたばかりの児童生徒に付き添い、生活上の相談や授業での個別支援を行ったり、保護者との面談における通訳や保護者宛文書の翻訳などを行ったりしている。外国人児童生徒は増加傾向にあるため、この事業だけでは、厳しい状況が続いている。2名の指導員以外にも3名の通訳員が巡回し、適応指導の補助や通訳を実施しているというのが現状である。

そこが聞きたい!!

一般質問

一般質問は、議案と関係なく市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただし、あるいは報告・説明を求めるもので、定例会に限って行われます。

今9月定例会では、7人の議員が一般質問を行いました。



湖西市議会公式サイト

▶▶▶ ウェブサイトで本会議の映像を見ることができます。

湖西市議会 再生リスト
令和3年9月定例会

<https://www.city.kosai.shizuoka.jp/gikai/index.html>



湖西市議会

▶ 本会議インターネット放送

▶ 本会議の放送はこちらから(YouTubeへ)

新型コロナウイルスのワクチン接種が早期に完了することなど、市職員の感染予防対策の遂行が優先されることを目的として、7人の議員が、一般質問を辞退しました。

01



加藤 弘己 議員

国土強靱化推進の取組について

問 新たなハザードマップの配布時期、配布方法は。

答 現在整備中の高師山地区津波避難タワー及び上田町地区命山の完成を今年度中に予定しており、津波避難施設空白域が全て解消される。新たに整備した命山や津波避難タワーに加え、追加指定された土砂災害警戒区域などの内容を追加・更新し、令和4年度に新たにハザードマップを全戸配布する予定である。ハザードマップを活用し、家庭内の避難行動に対する共通認識や、災害に対する意識を高めていただくため、紙媒体での配布を考えている。

問 人材育成など、地域の防災力向上に向け、自主防災活動に対してどのように支援しているか。

答 例年、梅雨時を迎える前の5月に、全自主防災会を対象に衛星携帯電話の操作研修や避難場所開設訓練などを実施している。研修会、防災出前講座ともに、地域防災指導員が主体となり実施しており、自主防災組織の活性化の担い手となり、地域防災力の強化・底上げにつながっている。また、自主防災会の活動や資機材整備などに対する補助制度を設け、発電機や備蓄品の購入に活用し、地域防災力の向上に役立てていただいている。

放課後児童健全育成事業について

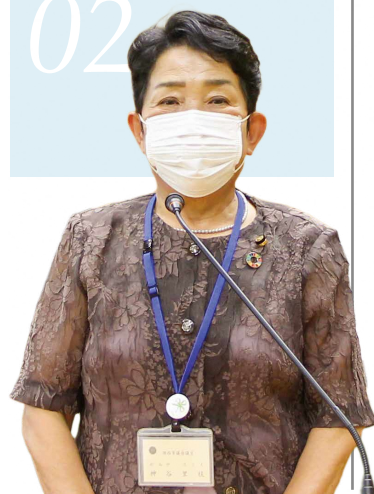
問 放課後児童クラブで学校を利用するにあたり、極端な制限を設ける理由と打開策は。

答 制限を設ける理由は、鍵がかかっていない教室への出入りや廊下など指導員の目が届かないところでのトラブルが想定されるため、運営者と学校との話し合いで決めたものである。運動場は、部活動等で利用していたため制限をしていた。現在は、タブレット端末管理のため教室を施錠したり、部活動がなくなるなど状況が変わってきたので、今後は、学校と運営者と教育委員会で話し合いをして児童がよりよい環境で有効に利用できるように進めていく。

問 発達障害児などを受け入れるクラブへの支援体制は。

答 支援員の資質の向上を図るために、県で実施している放課後児童クラブ実施研修事業を活用し、発達心理学の専門的な知識を有するアドバイザーを派遣し、現場で対応方法などの指導を受けるようにしている。また、障害を持った児童の受け入れの実態に合わせて、国の補助金の基準を参考にしながら協議し、事業費についても支援をしていきたいと考えている。

02



神谷 里枝 議員

産前・産後ケア事業の拡充について

問 市の産後ケア補助事業の利用者が少ない要因をどう捉えているか。

答 産後ケア事業については、窓口相談に来た妊産婦さんや赤ちゃん訪問で伺ったご家庭にて口頭で説明しているほか、市のウェブサイトに掲載し、周知している。しかし、佐原議員が行ったアンケート結果を見る限りでは、7割の方が制度を知らなかったという状況であり、周知不足であったことは、利用実績が少ない要因の一つであると考えている。今後は母子健康手帳の交付時に、手元に残る紙媒体での配付などを検討していきたい。

問 オンライン相談事業の実施を検討しては。

答 現在、家庭の事情などにより外出できない相談者に対しても電話相談で対応しており、必要がある場合にはすぐに訪問している。お母さんやお子さんの様子などについては、直に見て触れなければ感じ取れない部分も多いため、直接面談が重要である。オンライン相談は、有効な手法であることは認識しているので、現在策定中の湖西市DX推進計画の基本方針の一つである「市民向けサービスのDX推進」の中で、できることから取り組んでいきたいと考えている。

03



佐原 佳美 議員

04

第2次湖西市教育振興基本計画について

問 「時代に対応した教育行政の推進」とあるが、教育委員会としてどのように推進し、施策に反映していくのか。

答 時代に対応した教育行政の推進については、総合教育会議があり、市長と教育委員会が協議調整し、教育政策の方向性を共有し執行にあっている。令和2年度の会議では、教育大綱と学校規模適正化について協議し、今年度からは学校教育施設適正化検討委員会を開催している。このほか、教育委員会などで得られた外部評価の意見により、教育現場における課題の把握に努め、社会状況の変化に的確に対応できるよう取り組んでいる。

問 「地域とともに歩む学校づくりの推進」とあるが具体的にはどのように取り組んでいくのか。

答 今年度から各校に学校運営協議会を設置し、学校運営の基本方針の承認や意見交換を行い、学校と地域住民や保護者が力を合わせて学校運営を進めていくことを目指している。また、地域の自然、文化、伝統芸能などを体験する活動を取り入れ、子どもたちが体験を通して、自分の資質・能力を高めたり、地域の人やものへの愛着を持ったりすることができるように、工夫した教育活動を展開している。



滝本 幸夫 議員

教師多忙の実状と部活の改革について

問 小学校の部活をやめることには賛成だが、やめる決断をした主な理由は。

答 1つは教員の働き方改革である。部活動は教育活動の一部として大きな実績を上げてきたが、その労力を子どもたちのために別の分野で使いたいという教員の意見も増え、活動時間が縮小されている。もう1つは子どもたちの生活の多様化である。少年団や習い事など、放課後の時間に何をするのか選ぶ時代になっている。そんな中、コロナ対策で大会や発表の場がなくなり、教育活動が制限されることで見直しが行われ、小学校での部活をやめ、各校で新たな教育課程を推進していくこととなった。

インクルーシブ教育と学校のバリアフリー化について

問 湖西中に2年後にエレベーターが必要な生徒が入学する予定だが、エレベーター設置計画についての予定は。

答 耐震構造なども考慮しなければならず、大規模改修の時期に設置するのがよいと思われる。湖西中の大規模改修の予定時期は公共施設再配置個別計画の第3期後半(2031～35年)と考えている。

その他の質問

…熱海市の盛土問題と当市の対応について

05



三上 元 議員

第2次湖西市教育振興基本計画について

06

問 「生きる力」とはどのようなものか、児童生徒に何が必要なのか、「生きる力」を身に付けるためにどのような施策が講じられるのか。

答 「生きる力」とは、知・徳・体のバランスのとれた力のことである。市としては、やさしく、たくましく、こころざしある人の育成を目指しており、未来の湖西を創る人材育成のために安心・安全で学びを支える園・学校施設を整備したり、質の高い学習環境を整備したりしていく。

問 特別支援教室における外国籍児童の在籍率が多いことについて、どのように認識しているか。今後の対応は。

答 特別支援学級の入級対象者かどうかという判断は、年3回の就学支援委員会で小児科医とともに審議している。外国籍児童生徒については、学校に配置の通訳員や外国人適応教室指導員とも連携し、必要としている支援が日本語の理解によるものなのか、発達面によるものなのかを見極め、判断している。今後も個のニーズに合わせた対応をしていきたい。



楠 浩幸 議員

災害時要配慮者支援の取組みについて

07

問 「災害時要配慮者支援の手引き」について、市として作成の背景や内容をどのように認識しているか。

答 令和3年5月の災害対策基本法の改正により、避難行動要支援者ごとに個別避難計画の作成が努力義務となった。市でも地域防災計画で防災部局と福祉部局が連携し、自主防災会、社会福祉協議会、民生委員などと協力して要配慮者に関する情報共有、避難支援計画の策定など、支援体制の整備に努めている。この手引きには要配慮者それぞれの特徴や留意事項などが

わかりやすく示されており、今後の防災活動や避難所運営の推進に活用したい。

問 個別避難計画の作成も含めて、災害発生時には地域の共助で避難所へ行く仕組みはできているか。

答 「共助」の仕組みとしての個別避難計画の作成状況は把握できていないが、地域により差があることは認識している。迅速かつ円滑な避難には、地域ぐるみの支援「共助」が必要不可欠であるため、今後、計画の作成を地域と協力して進めていきたい。



福永 桂子 議員

あの質問、 どうなったの？

過去の定例会で行われた一般質問が、その後どう取り組まれたのかを追跡します。

議会だより No.189 掲載

(令和元年10月31日付発行)

市役所内、改善活動(5S活動)導入について

問 多くの市民が来庁する市民課などがモデルとなって5S活動を行ってはどうか。

答 職場の環境美化、適正文書管理の推進を所管する総務課が率先し、執務スペースの整理整頓を実施し、その後全庁的に展開したい。

5S活動…職場環境の改善、人材育成などを目的に、整理・整頓・清掃・清潔・しつけに取り組むこと。

追跡してみると



湖西市役所5S活動が実施され、棚の上を中心とした整理整頓の推進や、発生した不要物品の一括処分が行われました。



整理された棚の上

「今年度の議会報告会について」

例年この時期に、自治会などのご理解ご協力のもと、皆様の地域へお伺いし開催させていただいておりました「議会報告会」ですが、昨年度同様に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、対面方式による議会報告会は中止することとしました。

つきましては、この議会だよりの〈令和2年度決算審査〉をもって報告会に代えさせていただきます。皆様からのご意見は引き続き拝聴させていただきますので、議会事務局までご連絡下さい。

なお、従来の議会報告会とは別に、オンラインによる意見交換会を試行するなど、新たな取り組みも検討しております。

新型コロナウイルス感染症への高い警戒を保つための対応と考えておりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

- TEL 053-576-4791
- FAX 053-576-0331
- E-Mail gikai@city.kosai.lg.jp

市議会からのお知らせ

「ぎかいのひろば」を スマホでも!

マチイロ を使えば、

「ぎかいのひろば」をスマートフォンで読むことができます。
(※別途通信料がかかります。)

利用
方法

- ① 右のコードからアクセス
- ② 「マチイロ」をダウンロード
- ③ 個人設定→お住いの地域を「湖西市」に設定



編集委員 (◎は委員長、○は副委員長)

◎馬場 衛 ○土屋 和幸 柴田 一雄 滝本 幸夫
三上 元 福永 桂子 竹内 祐子 中村 博行

12月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
11/21	22	23	24 10:00～ 本会議第1日	25	26	27
28	29	30 10:00～ 本会議第2日 (一般質問)	12/1 10:00～ 本会議第3日 (一般質問)	2 10:00～ 本会議第4日 (一般質問)	3	4
5	6	7 10:00～ 本会議第5日	8 10:00～ 総務経済 委員会	9 10:00～ 福祉教育 委員会	10 10:00～ 建設環境 委員会	11
12	13	14	15 10:00～ 本会議第6日	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25

予定が変わることもありますので、議会事務局へお問い合わせください。

ぎかいのひろば No. 197

令和3年10月31日発行

次回は
令和4年1月31日発行予定です

発行/湖西市議会 議会だより編集委員会
〒431-0492 静岡県湖西市吉美3268番地
TEL.053-576-4791 / FAX.053-576-0331
<https://www.city.kosai.shizuoka.jp/>

湖西市議会
公式サイトも
ご覧ください

